

# 決算説明会 第2四半期(累計) (2009年6月期)

2009年2月16日

株式会社 アルバック

## ◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## ◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q(累計) : 第2四半期連結累計期間

2Q : 第2四半期連結会計期間

## ■ 世界のトップに挑戦

代表取締役会長 中村久三

## ■ 09年6月期(2Q(累計))業績概要

## ■ 09年6月期通期見通し

代表取締役社長 諏訪秀則

## 世界同時不況の本質

### ■世界同時不況の本質(1)

▶無責任な架空債権投機の失敗が契機

▶本質は米国経済が破綻し、世界経済の中心が米国から中国に移る過程

◆米国と米国国民は長期にわたり借金で生活。  
日本、中国国民の保険金、貯金で支えてきた

◆借金漬けで家、自動車を買わされた米国国民も被害者

◆これを支え不況の犠牲になった日本国民も被害者

### ■世界同時不況は不正常な関係を根本的に断ち切るまで続く

▶ドルと米国国債が暴落し、米国、日本、中国経済は大混乱

▶大幅な円高(1ドル=60~70円)に対応した体制の構築

## 世界同時不況の本質

### ■ 世界同時不況の本質(2)

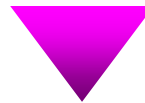
#### ▶ 製造業の成長を牽引する「分野」の変化

- ◆ エネルギーと資源が完全に枯渇し、環境負荷は限界
- ◆ 電子デバイス、ITソフトからエネルギー・環境分野へ
- ◆ さらに資源・材料分野が成長を牽引

### ■ 世界同時不況の本質(3)

#### ▶ 製造業の成長を牽引する「地域」の変化

- ◆ 中国、インド、ロシア、中東が急成長
- ◆ 装置ビジネスとして「ターンキービジネス」のみ通用する

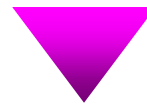


今回の不況は大幅な構造変化が伴い、  
従来の不況とは大きく異なる。

\* ポストFPD戦略としてすべての対策を織り込み済み

## 日本の製造業の対応

- 一般化(コモディティ)した技術や商品
  - ▶ 円高の中で海外生産を積極的に展開し、圧倒的なグローバルシェアを獲得
  - ▶ 技術流出を恐れ日本に縮こまるとさらに技術流出が発生
- 独創的で最先端技術
  - ▶ 日本でしかできない商品を開発、生産
  - ▶ 日本の製造業が生き延びていく唯一の方法



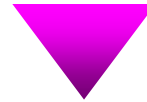
### 日本の特徴

- ◆ 技術者は非常に恵まれた環境
- ◆ 欧米、東アジア諸国に比べ製造業に必要なすべての分野を持つ唯一の国
- ◆ 独創的で最先端の技術や商品を作る最適地

## 世界のトップに挑戦

### ■ 技術的に圧倒的なトップを

- ▶ 次から次と独創的で画期的な新商品を開発し続ける
- ▶ 技術的に圧倒的なトップを獲得



大不況の中での最大の防衛策

### ■ 技術のアルバック

- ▶ 同業他社は非常な困難に直面
- ▶ 今から成長する分野を着実に準備
  - ◆ 太陽電池、ハイブリッド・カー、LED、中国事業、ターゲット材料

「技術のアルバック」の真価が発揮できる絶好のチャンスを生かし世界のトップに挑戦

■ 世界のトップに挑戦

代表取締役会長 中村久三

■ 09年6月期(2Q(累計))業績概要

■ 09年6月期通期見通し

代表取締役社長 諏訪秀則



## 09/6期 2Q (累計) 実績

【単位：億円】

|        | 09/6期 2Q (累計)   |       | 予想比<br>(増減率) |
|--------|-----------------|-------|--------------|
|        | 予想<br>(11/13修正) | 実績    |              |
| 受注高    | 1,350           | 1,149 | -15%         |
| 売上高    | 1,190           | 1,081 | -9%          |
| 営業利益   | 24              | 38    | 57%          |
| 経常利益   | -3              | 12    | -            |
| 四半期純利益 | -10             | 14    | -            |

注) 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

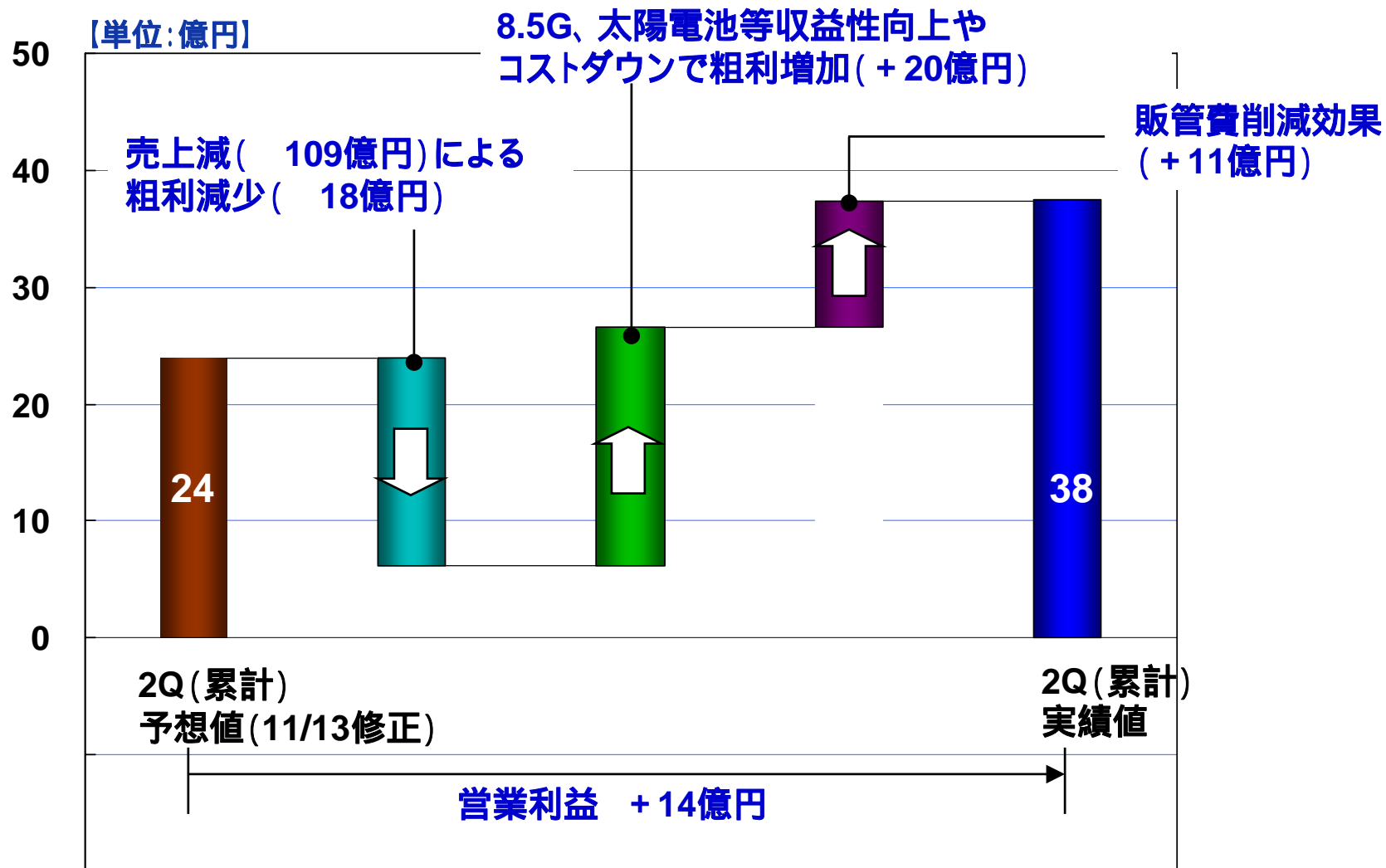
## 品目別売上高の実績(2Q(累計))

【単位:億円】

| 品目             |                      | 09/6期 2Q(累計)     |       |              | 主な変動要因                   |
|----------------|----------------------|------------------|-------|--------------|--------------------------|
|                |                      | 予想<br>(11/13修正値) | 実績    |              |                          |
|                |                      |                  | 売上高   | 予想比<br>(増減率) |                          |
| 真空<br>関連<br>事業 | ディスプレイ及び<br>電子部品製造装置 | 597              | 540   | -10%         | 台湾で液晶関連の納入<br>延期、下期へ期ズレ  |
|                | 半導体製造装置              | 98               | 89    | -9%          | メモリ関連の設備投資延<br>期・凍結による   |
|                | コンポーネント              | 137              | 122   | -11%         | 液晶関連の設備投資延<br>期でポンプなど低迷  |
|                | その他                  | 93               | 80    | -14%         | 自動車関連投資延期・凍<br>結による      |
| その他の事業         |                      | 265              | 250   | -6%          | 液晶などFPD関連の減産<br>で材料関連売上減 |
| 合計             |                      | 1,190            | 1,081 | -9%          |                          |

注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

# 営業利益増減分析(09/6期 2Q(累計))



## 連結貸借対照表(資産の部)

【単位:億円】

|          | 08/6期 2Q<br>(参考) | 08/6期 | 09/6期 2Q | 増 減 |
|----------|------------------|-------|----------|-----|
| 流動資産     | 2,012            | 1,866 | 2,278    | 413 |
| 固定資産     | 1,148            | 1,165 | 1,214    | 49  |
| 有形固定資産   | 930              | 938   | 1,000    | 62  |
| 無形固定資産   | 35               | 38    | 37       | 1   |
| 投資その他の資産 | 183              | 189   | 176      | 12  |
| 資産合計     | 3,160            | 3,031 | 3,492    | 461 |

**資産の部: 461億円増**

**流動資産: 413億円増**

◆たな卸資産

282億円増(FPD製造装置関連の仕入増による)

**固定資産: 49億円増**

◆有形固定資産

62億円増

(茅ヶ崎工場リニューアル 期工事、和歌山洗浄工場建設、千葉超材研新築工事、新規連結など)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 連結貸借対照表(負債・純資産の部)

【単位:億円】

|                  | 08/6期 2Q<br>(参考) | 08/6期        | 09/6期 2Q     | 増 減        |
|------------------|------------------|--------------|--------------|------------|
| <b>(負債の部)</b>    |                  |              |              |            |
| 流動負債             | 1,674            | 1,508        | 2,013        | 505        |
| 固定負債             | 560              | 604          | 567          | 37         |
| <b>負債合計</b>      | <b>2,234</b>     | <b>2,112</b> | <b>2,581</b> | <b>468</b> |
| <b>(純資産の部)</b>   |                  |              |              |            |
| 純資産合計            | 926              | 919          | 911          | 7          |
| <b>負債及び純資産合計</b> | <b>3,160</b>     | <b>3,031</b> | <b>3,492</b> | <b>461</b> |

### 負債の部 : 468億円増

- ◆支払手形及び買掛金 252億円増(たな卸資産増による)
- ◆短期借入金 291億円増

### 純資産の部: 7億円減

- ◆四半期純利益 14億円計上
- ◆少数株主持分 28億円増
- ◆有価証券評価差額金 6億円減
- ◆為替換算調整勘定 45億円減 (韓国、台湾連結子会社の為替影響)

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

## 09/6期(2Q(累計))のまとめ

### ■受注

- ▶ 第2四半期から半導体、液晶関連の受注が急減
- ▶ 太陽電池関連もややスローダウン

### ■売上

- ▶ 台湾液晶メーカーが装置納入を延期、大幅な売上減

### ■業績

- ▶ 営業利益：液晶、太陽電池関連の収益性アップで上方修正
- ▶ 経常利益：円高による為替差損(ウォン安)など大幅減

### ■対応策

#### ▶ 事業再構築

- ◆ 太陽電池関連、マテリアル事業の再編(ターゲット、洗浄など)などポストFPD戦略の加速

#### ▶ 人材流動化、緊急開発課題の加速

#### ▶ 固定費削減(経費、減価償却費、人件費、役員報酬など)

## 「ポストFPD戦略」の展開について(09/6(2Q(累計)))

### ■ FPDの設備投資が大幅減速。ポストFPD戦略を加速。

- ▶ デジタル家電部品(ハイブリッドモジュール)用装置
  - ◆ LED向け量産専用ドライエッチング装置を販売開始(従来比140%)
- ▶ エネルギー・環境関連
  - ◆ 世界初の薄膜リチウム二次電池一貫量産ライン技術を開発
  - ◆ 太陽電池用評価試験設備を新設  
～ テュフラインランドジャパンとの協力で合意
- ▶ カスタマーサポートとOEM生産
  - ◆ マテリアル事業の事業再構築
  - ◆ 新銅合金ターゲットを新スパッタ技術に採用

---

■ 世界のトップに挑戦

代表取締役会長 中村久三

■ 09年6月期(2Q(累計))業績概要

■ **09年6月期通期見通し**

代表取締役社長 諏訪秀則



## 経営環境

### ■ ポジティブ要因

- ▶ 太陽電池関連の引き合いは堅調。投資タイミングを様子見
- ▶ 中国向け液晶ディスプレイの引き合いが増加
- ▶ 中古機ビジネス活況(中古ラインの移設など)

### ■ ネガティブ要因

- ▶ 液晶パネルの在庫調整で、台湾を中心に装置納入延期や大幅な減産が継続
- ▶ メモリ(DRAM、フラッシュ)関連は相次ぐ投資計画凍結  
双方とも再開の目途立たず
- ▶ 自動車販売不振
- ▶ エネルギーデバイス(LED、パワー半導体など)はややスローダウン

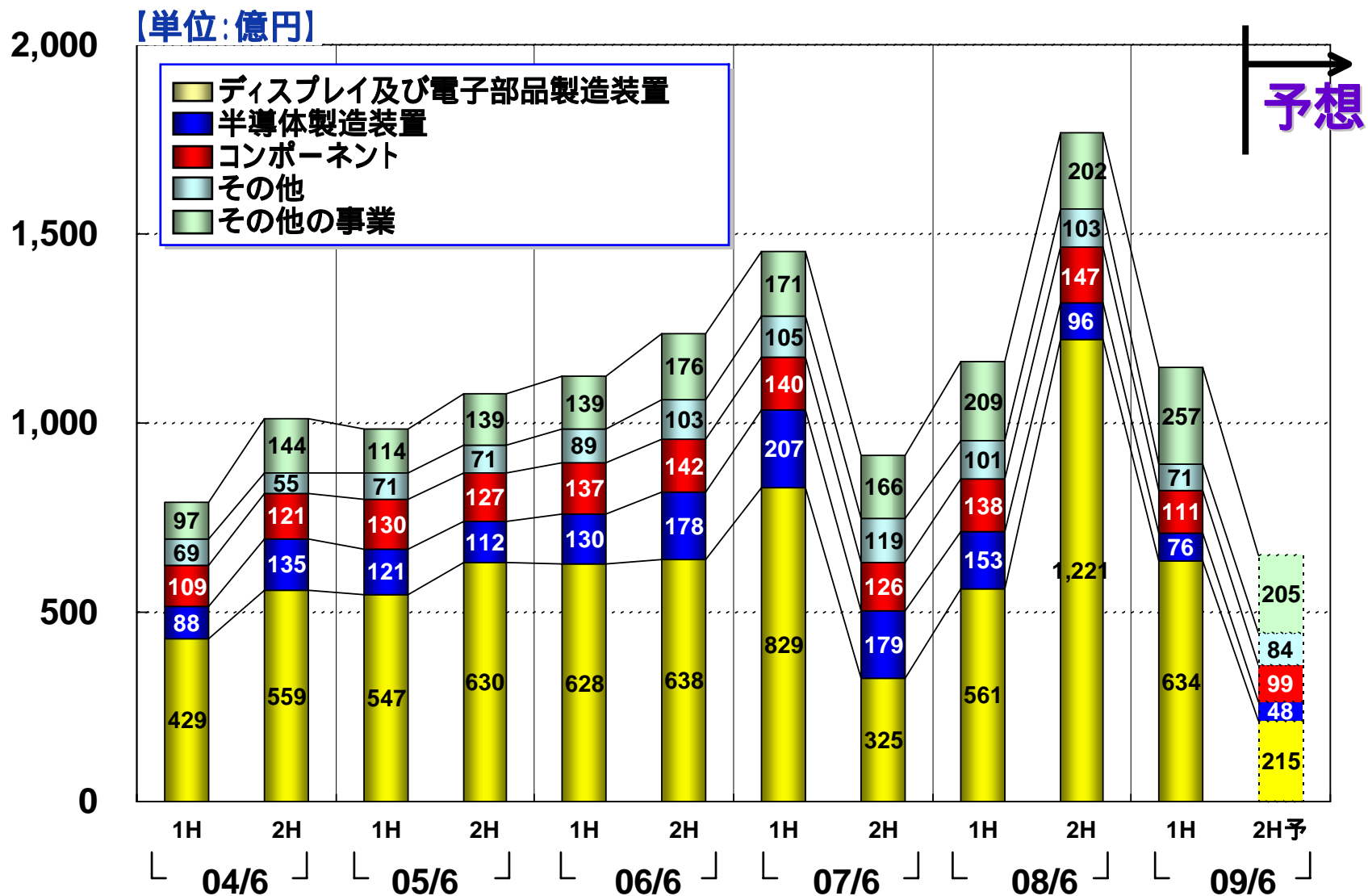
## 09/6期通期予想

【単位:億円】

|       | 予想<br>(11/13修正) | 09/6期(予) | 予想比<br>(増減率) |
|-------|-----------------|----------|--------------|
| 受注高   | 2,690           | 1,800    | -33%         |
| 売上高   | 2,675           | 2,330    | -13%         |
| 営業利益  | 68              | 68       | -            |
| 経常利益  | 18              | 18       | -            |
| 当期純利益 | 1               | 1        | -            |

注) 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

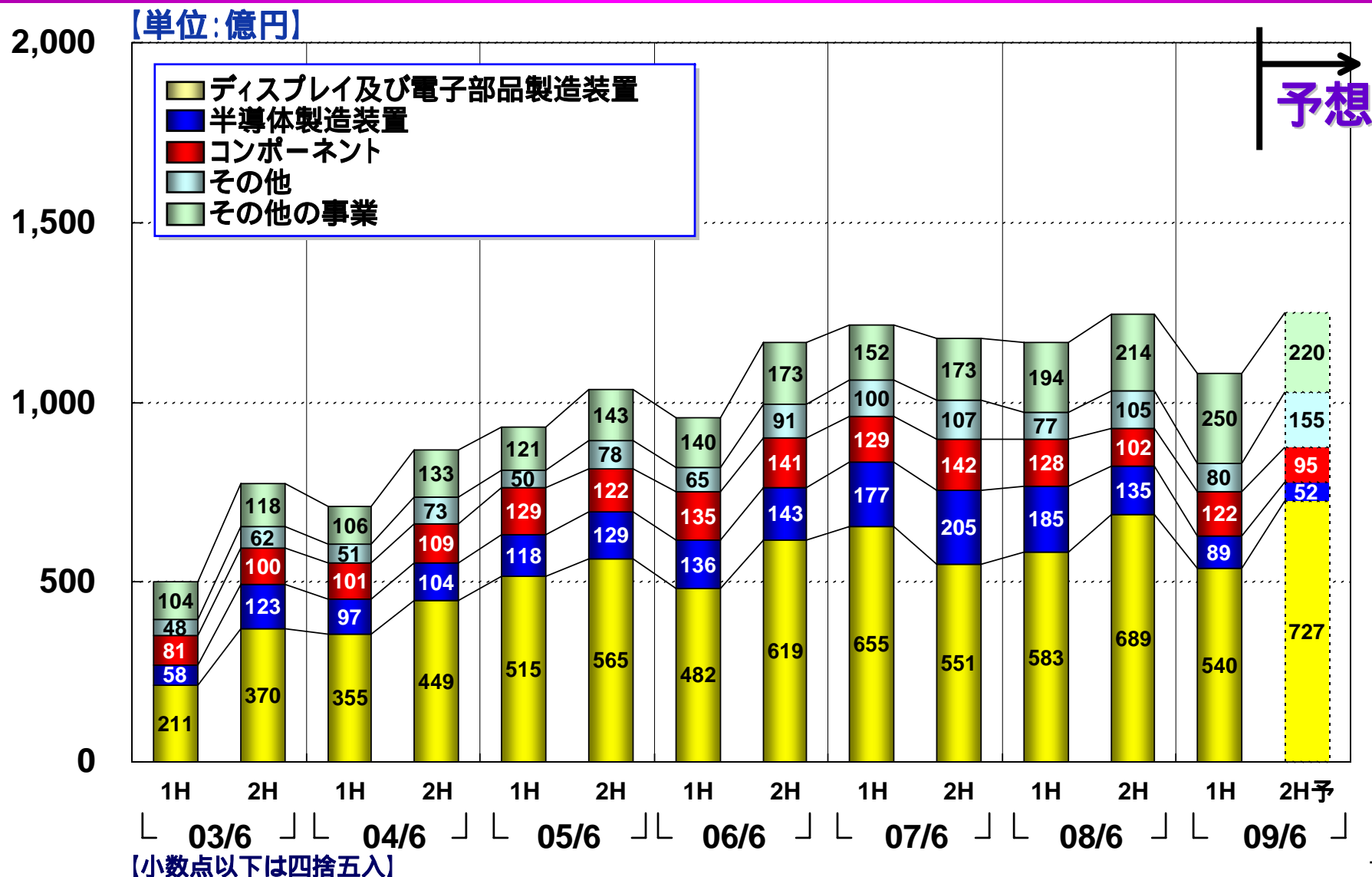
# 品目別受注高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

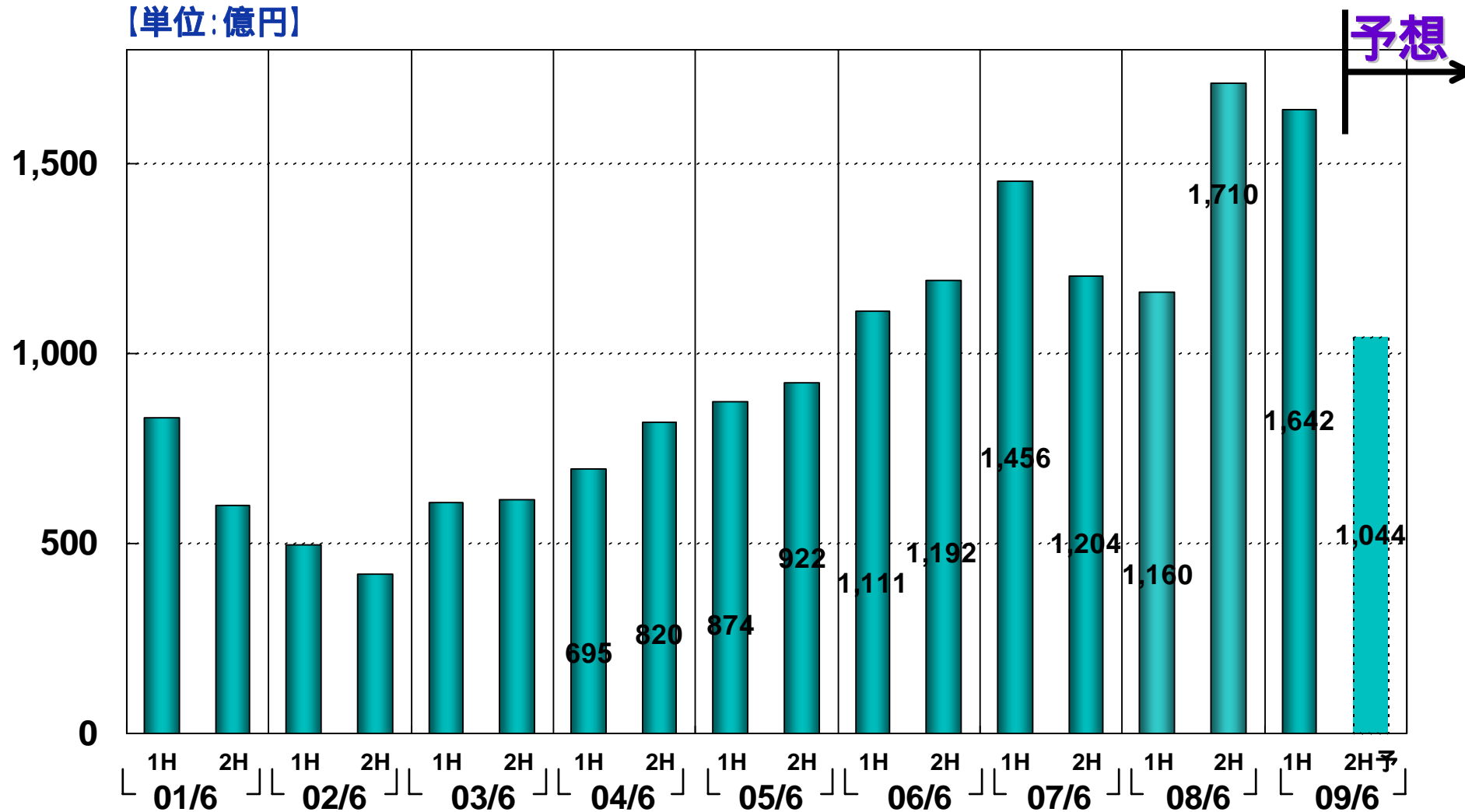
# 品目別売上高推移・予想



注)記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

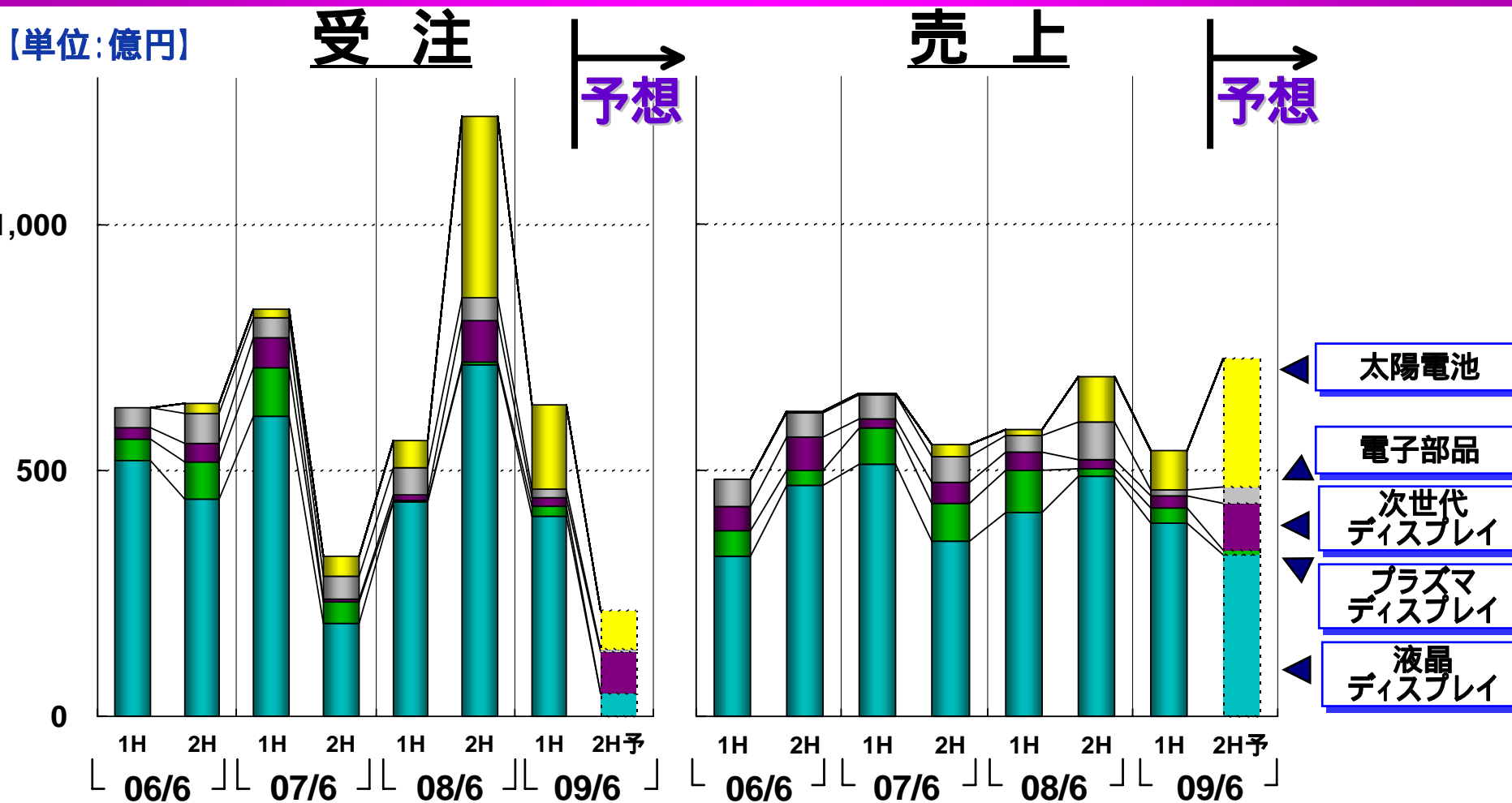
# 受注残高推移・予想

【単位：億円】



【小数点以下は四捨五入】

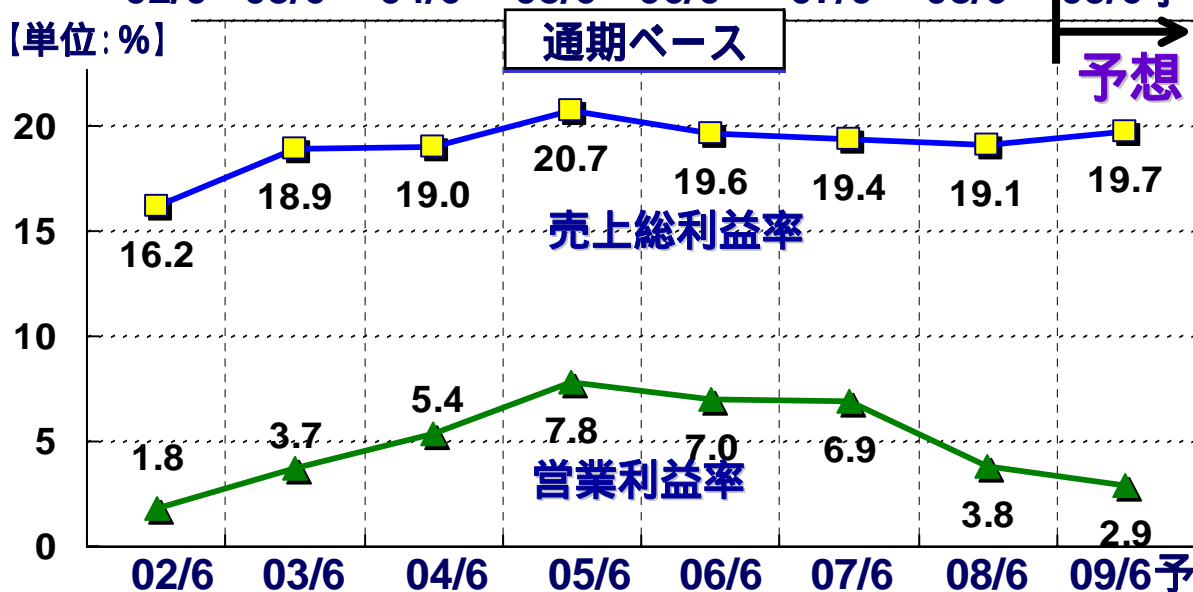
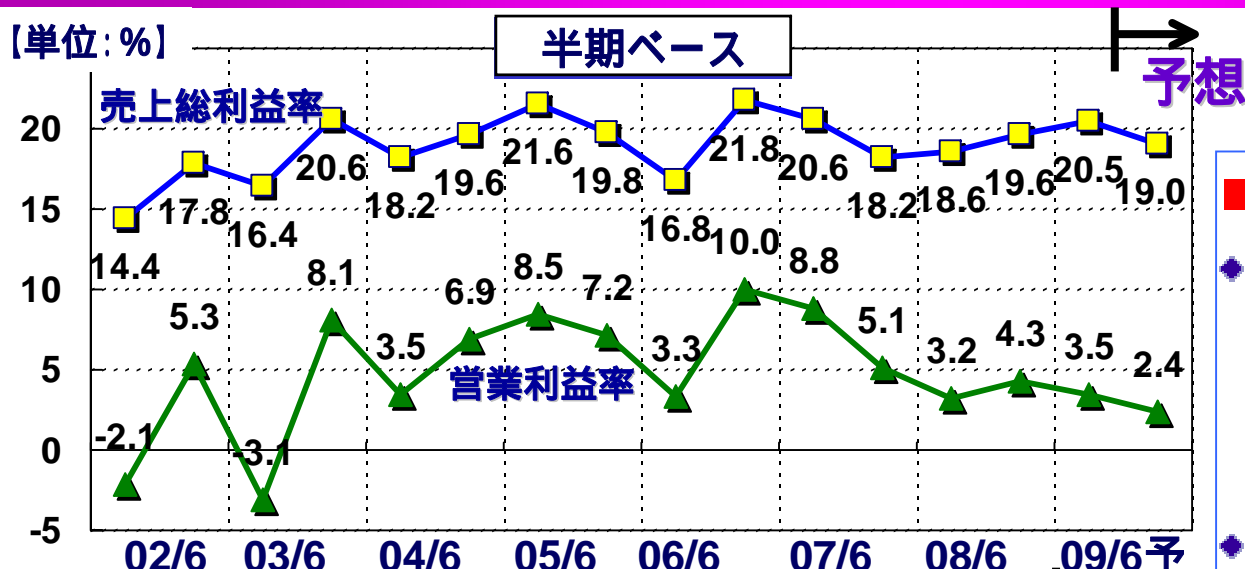
# ディスプレイ及び電子部品製造装置の推移・予想



**足元の受注環境**

- ◆液晶ディスプレイで大型基板を中心に設備投資が急減。
- ◆薄膜太陽電池関連の引き合い堅調だが、受注はスローダウン傾向。

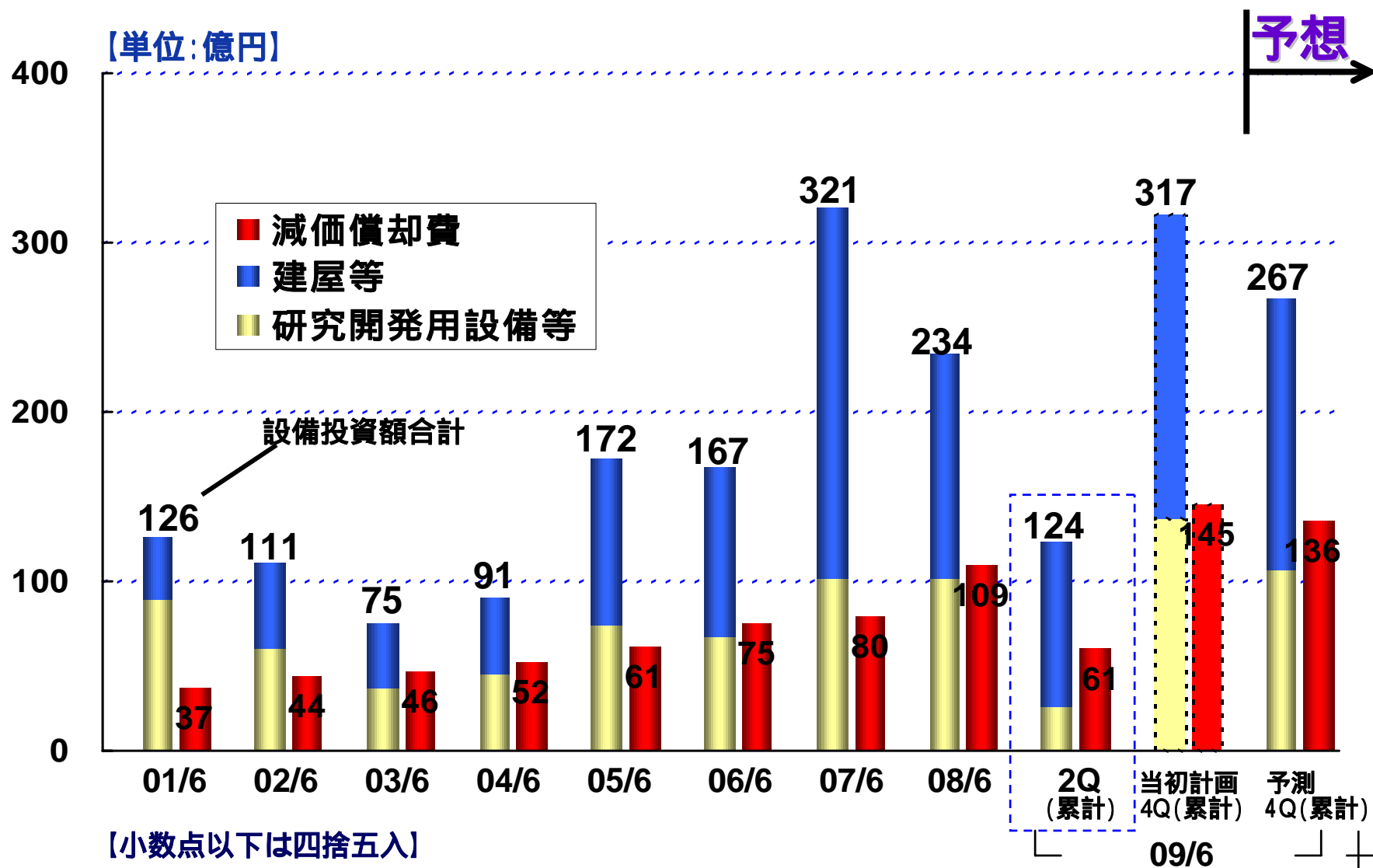
# 利益率の推移・予想



[小数点以下第2位は四捨五入]

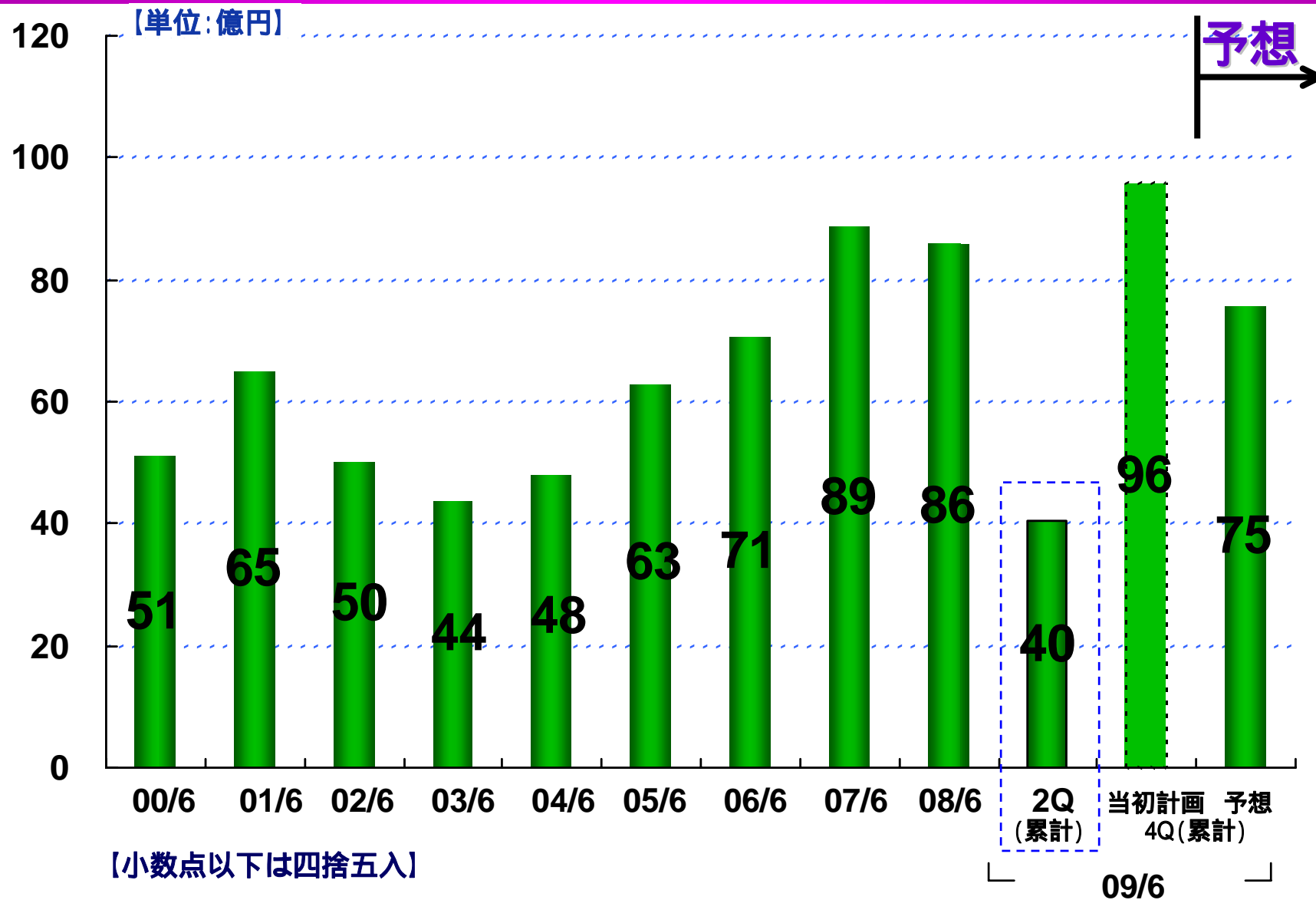
- 09/6期予想
- ◆ 下期収益悪化要因
    - ・液晶関連減産によりターゲット材料などのマテリアル減益
    - ・半導体投資回復遅れで売上減
  - ◆ 下期収益改善要因
    - ・太陽電池関連収益性の向上
    - ・固定費、経費削減効果
    - ・原材料価格など調達コストの削減と生産効率アップでコストダウン

# 設備投資、減価償却費の推移



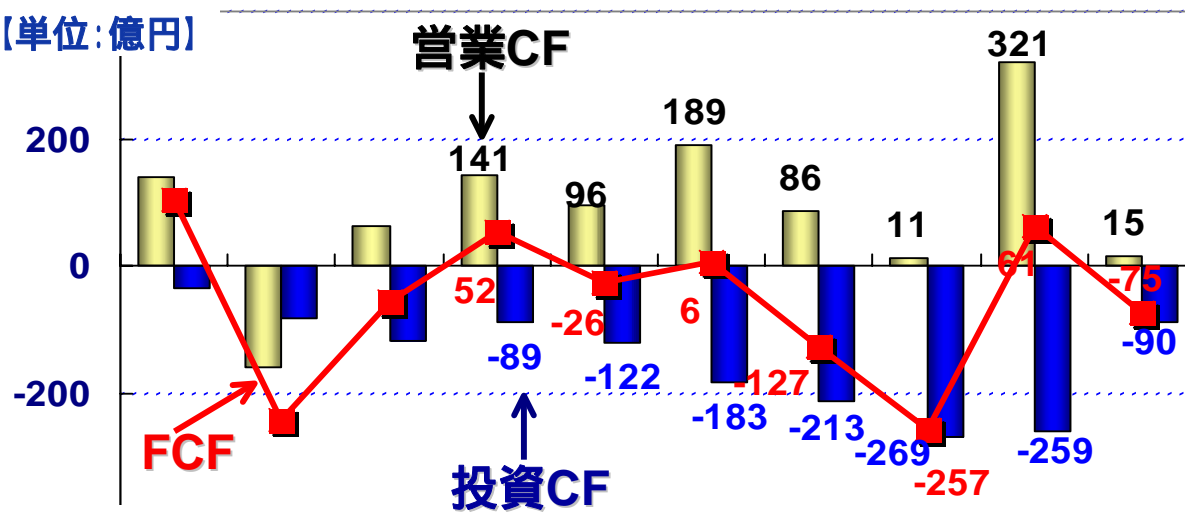


# 研究開発費の推移



# キャッシュ・フローと有利子負債の実績

【単位:億円】



■ 営業CF: 15億円

<プラス要因>

- ・買掛債務増加 262億円
- ・前受金増加 104億円
- ・減価償却費 61億円

<マイナス要因>

- ・棚卸資産増加 402億円

■ 投資CF: 90億円

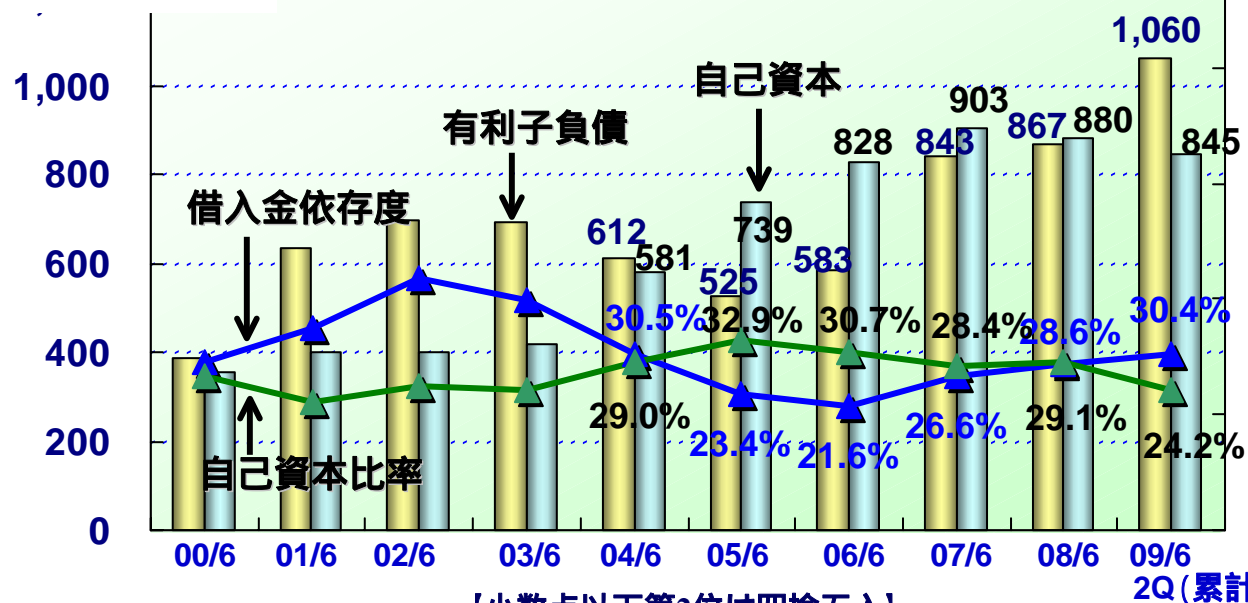
<プラス要因>

- ・固定資産売却等 10億円

100% <マイナス要因>

- ・工場及び設備の投資 78億円
- ・子会社株式の取得 14億円

【単位:億円】



Chi Mei Optoelectronics社などの台湾液晶メーカーの納入延期要求で、大幅な資金回収遅延リスクあり。

新たに主要取引行との間に500億円のコミットメント枠の設定を確保

## 下期の重点施策(まとめ)

- 不況は長期化(‘11/6期まで続く)
  - ▶ 長期化する不況に耐えうる損益分岐点の引き下げ
- 円高と消費の新興国シフトの進行
  - ▶ 海外現地生産促進と現地調達比率アップ
  - ▶ 中古機ビジネスの強化(中古ラインの移設など)
- 中国での設備投資の新たな動き
  - ▶ FPD、太陽電池関連の受注確保
- エネルギー・環境ビジネスの拡大
  - ▶ 太陽電池関連ビジネスの強化
- 装置事業補完の必要性
  - ▶ 脱装置ビジネス(マテリアルや委託成膜事業)の強化
- 資金繰りの悪化
  - ▶ コミットメントライン等での調達額増、投資抑制、営業回収強化

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック  
ULVAC

本日は  
ありがとうございました

# 主な新設工場、新拠点の設立 (09/6 (2Q (累計)))

## 韓国

■韓国アルバックマテリアル設立



◆2008年12月稼動開始  
(坡州市)

## 日本

■カスタマーサポート拠点新設



◆2008年12月稼動開始  
(和歌山県橋本市)

## 日本

■ポストFPD製造装置試作開発拠点

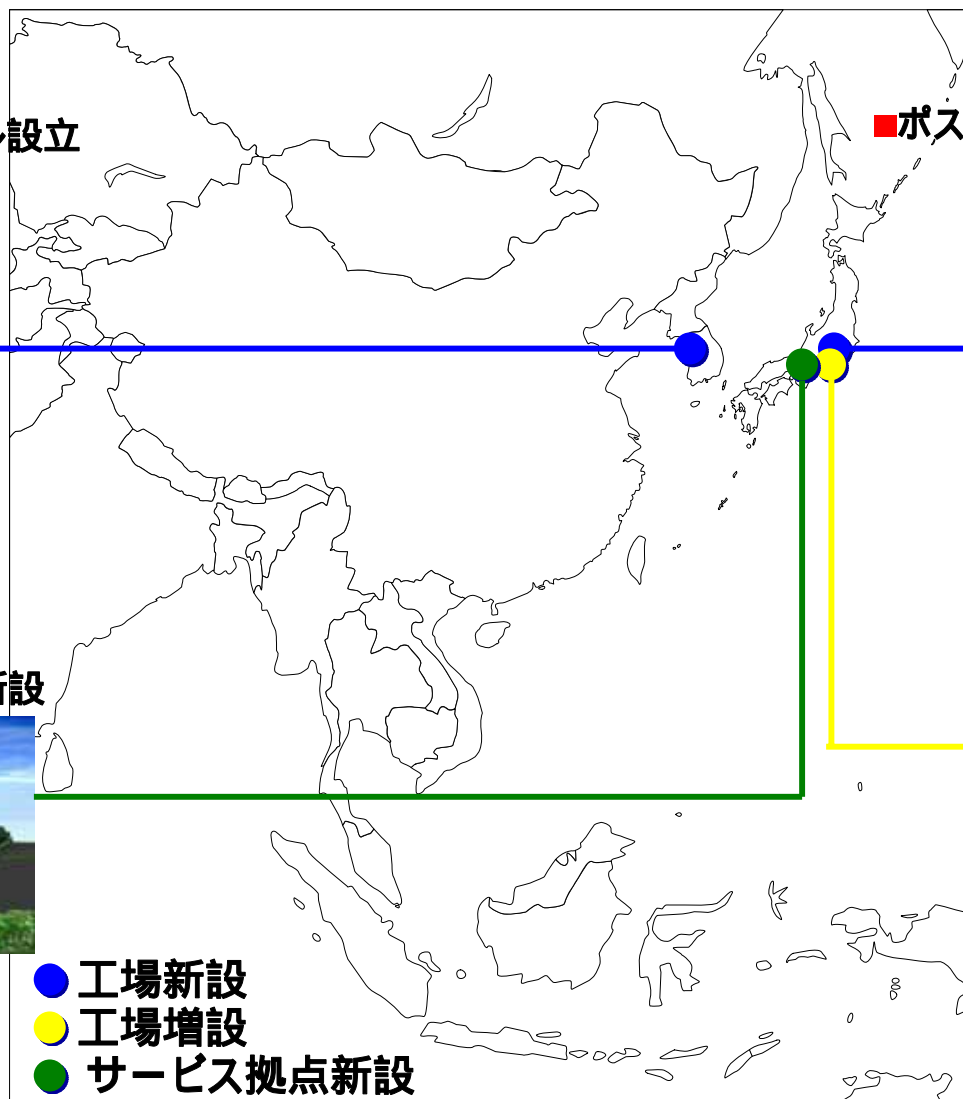


◆第2期:2008年10月 竣工  
(茅ヶ崎市)

■日本リライアンス新棟



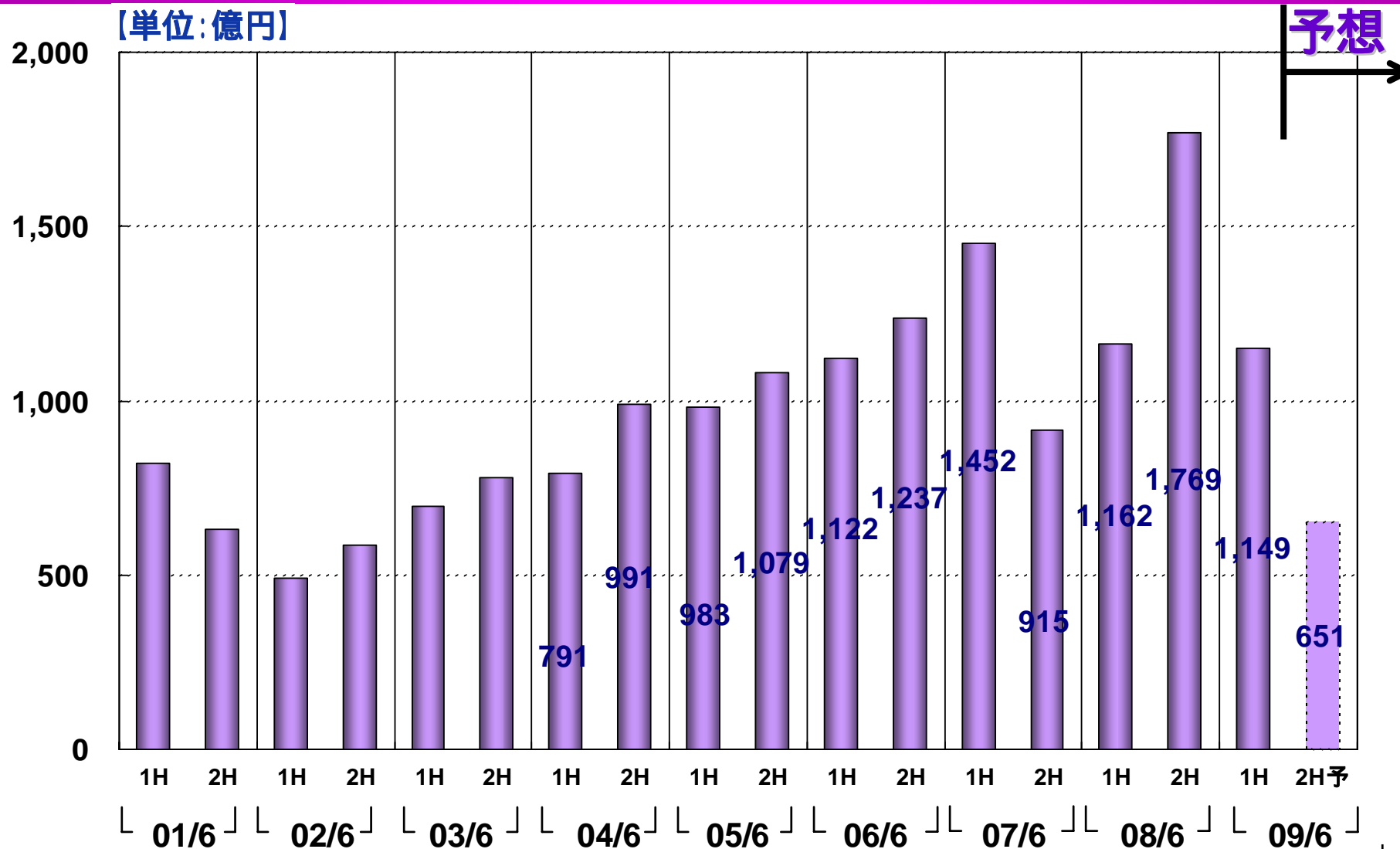
◆2008年8月竣工  
(横浜市)  
・制御系関連工場



- 工場新設
- 工場増設
- サービス拠点新設

# 受注高推移・予想

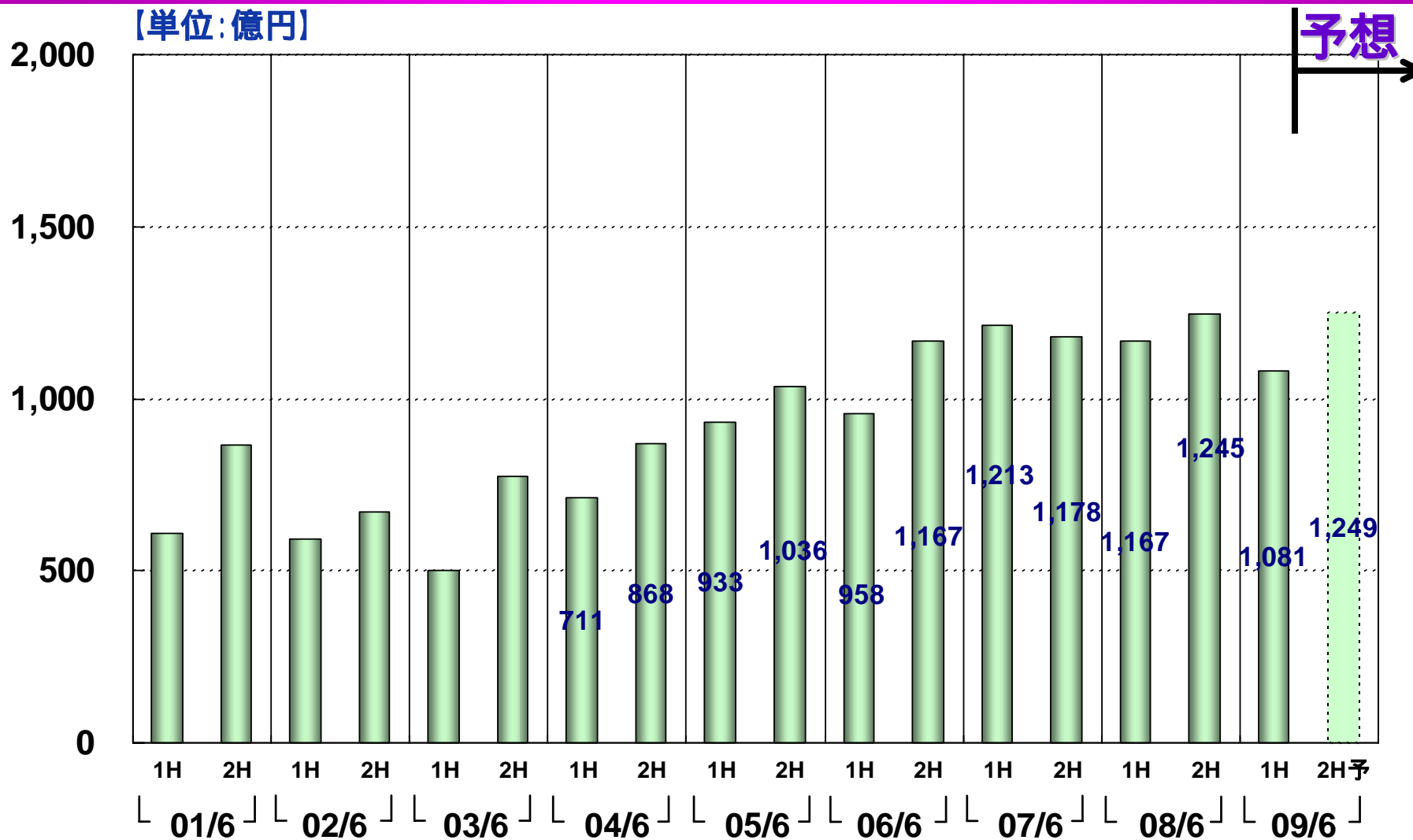
予想



【小数点以下は四捨五入】

# 売上高推移・予想

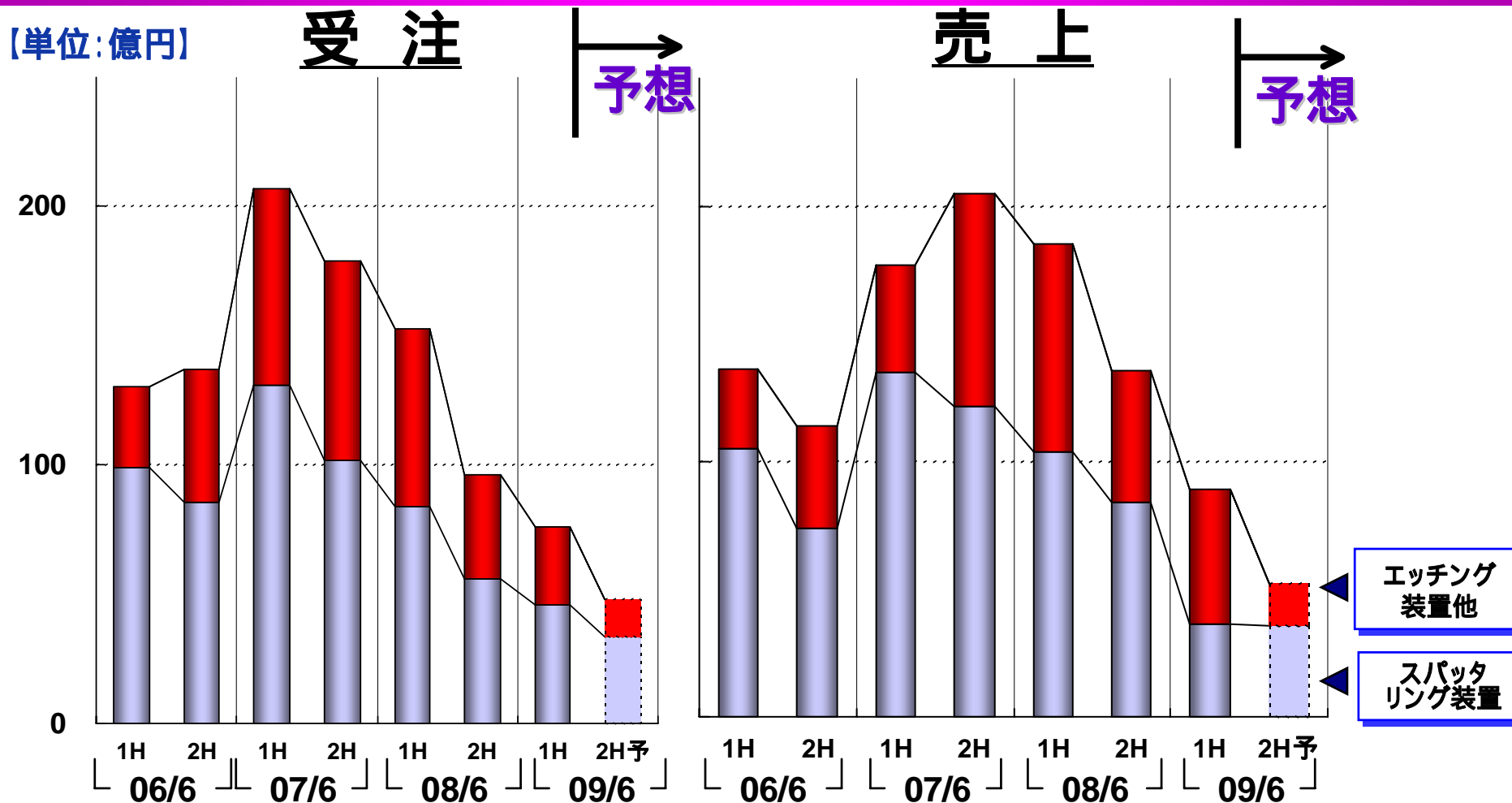
添付資料



【小数点以下は四捨五入】

# 半導体製造装置の推移・予想

添付資料



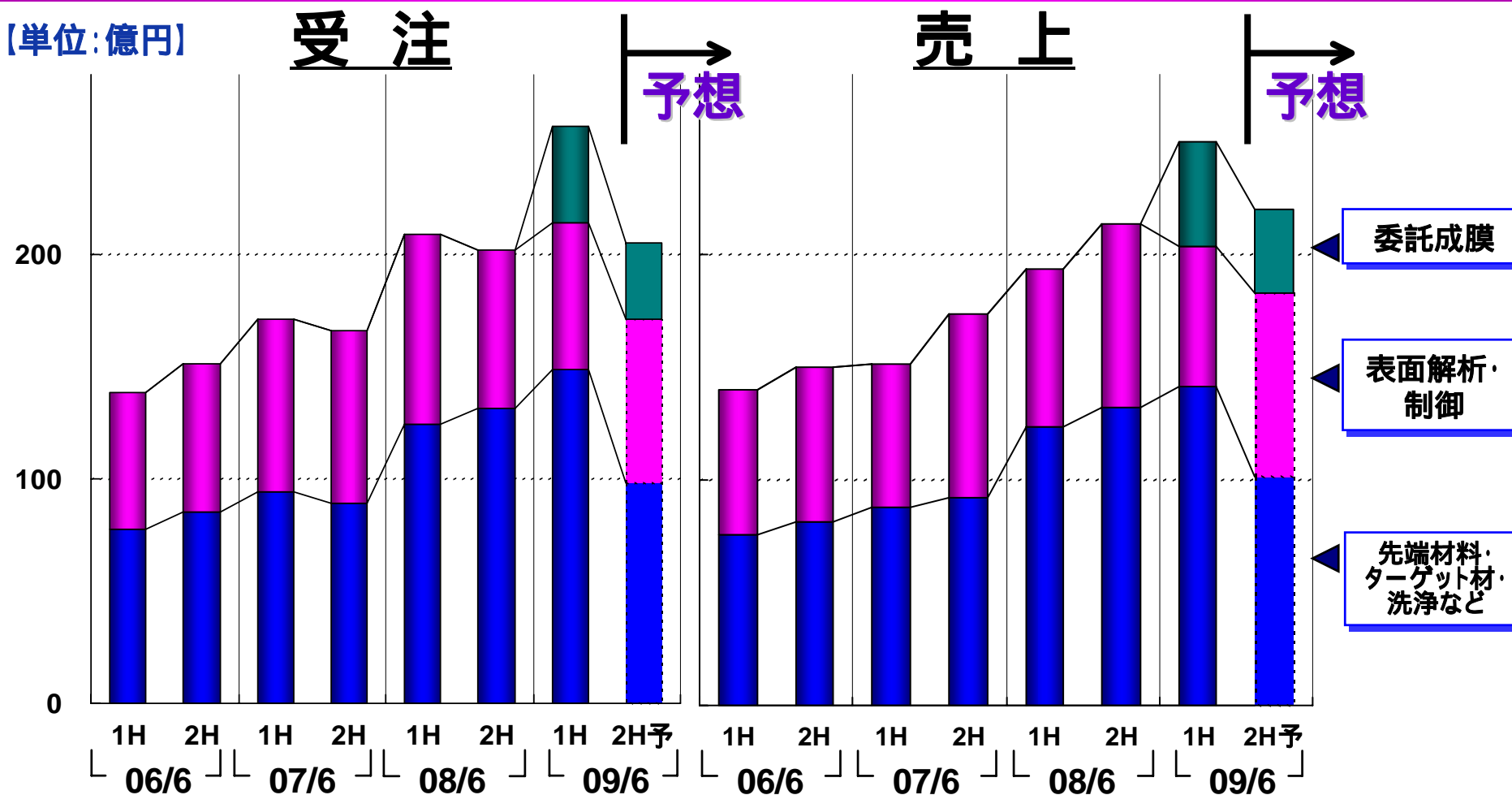
**足元の受注環境**

- ◆DRAM,フラッシュ関連の設備投資再開は目途たたず。
- ◆自動車やエレクトロニクス業界の設備投資低迷でエネルギーデバイス(LED、パワー半導体)受注急減



# その他の事業の推移・予想

【単位：億円】

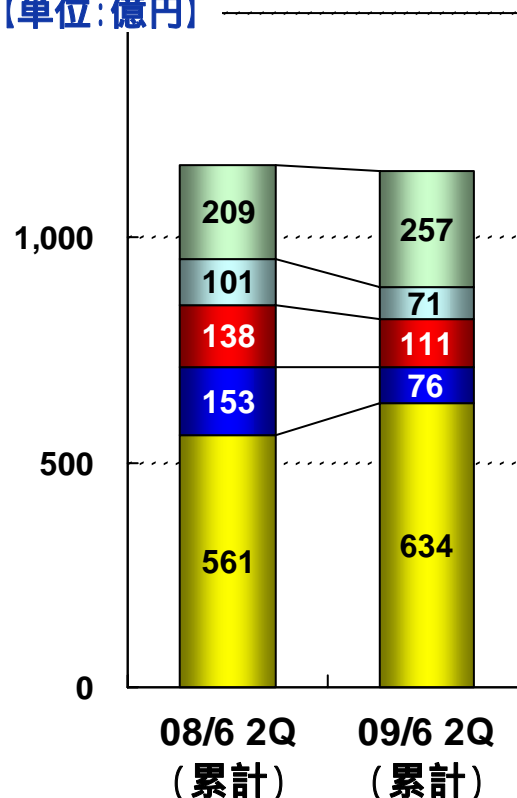


足元の受注環境

- ◆液晶ディスプレイの大幅減産でターゲット材料などで大幅減少。洗浄部門も減少。
- ◆自動車、コンパレーティング業界の業績悪化により、制御システムが大幅減少。

# 品目別受注高の実績

【単位:億円】



注)  
記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

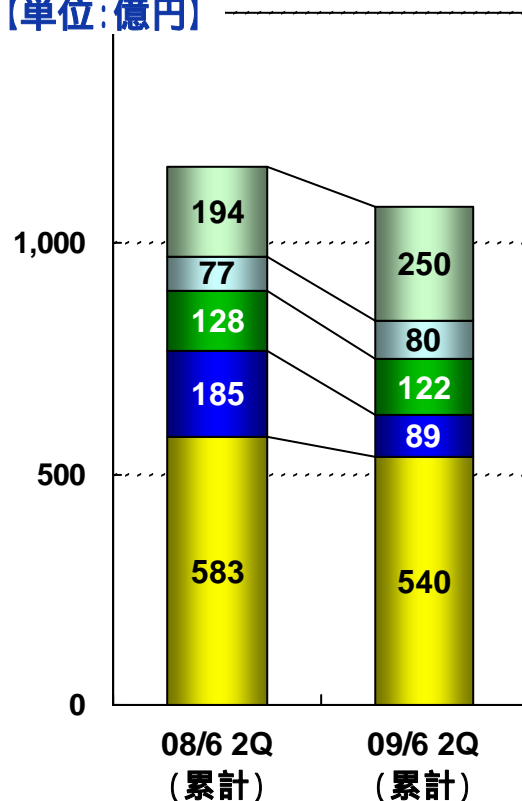
| 品目               | 背景(2Q(累計)の動き)   |
|------------------|---|
| その他の事業           | FPDの大型化でターゲット材増加。委託成膜新規連結。                                    |
| その他              | 自動車関連の投資計画延期で減少。  |
| コンポーネント          | 半導体、FPD関連の設備投資の減速でポンプ、計測器関連が減少。                               |
| 半導体製造装置          | フラッシュメモリ、DRAMの需要低迷により、投資計画延期・凍結により大幅減。                        |
| ディスプレイ及び電子部品製造装置 | 大型TV用液晶ディスプレイの設備投資により増加。台湾、中国などアジアを中心とした太陽電池一貫ライン(ターンキー)の受注増。 |

【単位:億円】

| 品目                         | 08/6期 2Q (累計) |     | 09/6期2Q (累計) |     |      |
|----------------------------|---------------|-----|--------------|-----|------|
|                            | 受注高           | 構成比 | 受注高          | 構成比 | 増減率  |
| 真空関連事業<br>ディスプレイ及び電子部品製造装置 | 561           | 48% | 634          | 55% | 13%  |
| 半導体製造装置                    | 153           | 13% | 76           | 7%  | -50% |
| コンポーネント                    | 138           | 12% | 111          | 10% | -20% |
| その他                        | 101           | 9%  | 71           | 6%  | -30% |
| その他の事業                     | 209           | 18% | 257          | 22% | 23%  |
| 合計                         | 1,162         | -   | 1,149        | -   | -1%  |

# 品目別売上高の実績

【単位:億円】



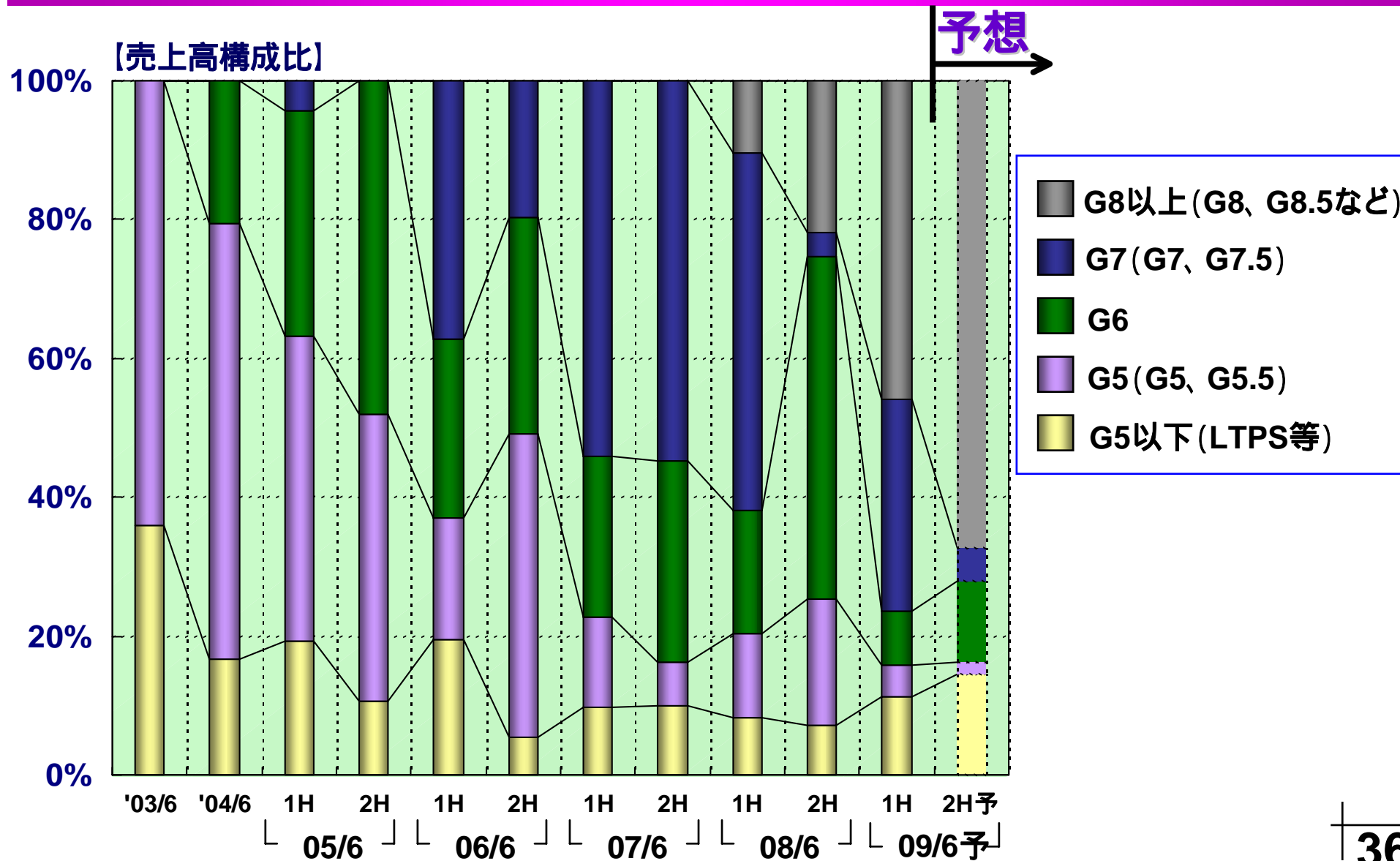
注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

| 品目               | 背景(2Q(累計)の動き)  |
|------------------|--|
| その他の事業           | FPDの大型化でターゲット材増加。委託成膜新規連結。                                       |
| その他              | エネルギー環境関連の熱処理炉や巻取式成膜装置など増加                                       |
| コンポーネント          | 半導体、FPD関連の設備投資の減速でポンプ、計測器関連が減少。                                  |
| 半導体製造装置          | フラッシュメモリ、DRAMの需要低迷により、投資計画延期・凍結により大幅減。                           |
| ディスプレイ及び電子部品製造装置 | 台湾を中心に大型TV用液晶ディスプレイの設備投資納入延期で減少。台湾、中国、日本などアジアを中心とした太陽電池製造装置が売上増。 |

【単位:億円】

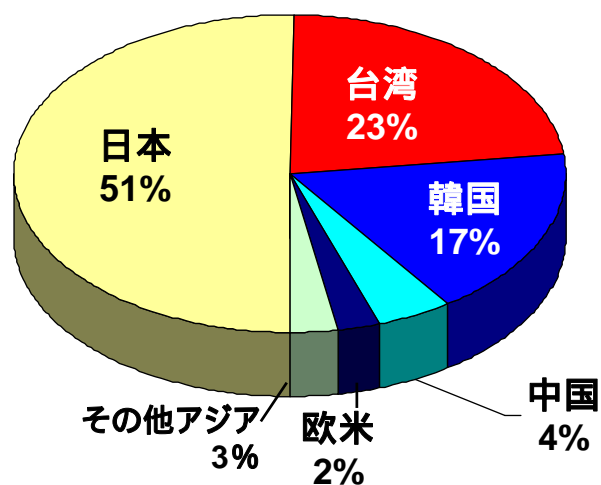
| 品目               | 08/6期 2Q(累計) |          | 09/6期 2Q(累計) |          |            |
|------------------|--------------|----------|--------------|----------|------------|
|                  | 売上高          | 構成比      | 売上高          | 構成比      | 増減率        |
| 真空関連事業           |              |          |              |          |            |
| ディスプレイ及び電子部品製造装置 | 583          | 50%      | 540          | 50%      | -7%        |
| 半導体製造装置          | 185          | 16%      | 89           | 8%       | -52%       |
| コンポーネント          | 128          | 11%      | 122          | 11%      | -5%        |
| その他              | 77           | 6%       | 80           | 8%       | 4%         |
| その他の事業           | 194          | 17%      | 250          | 23%      | 29%        |
| <b>合計</b>        | <b>1,167</b> | <b>-</b> | <b>1,081</b> | <b>-</b> | <b>-7%</b> |

# 液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移

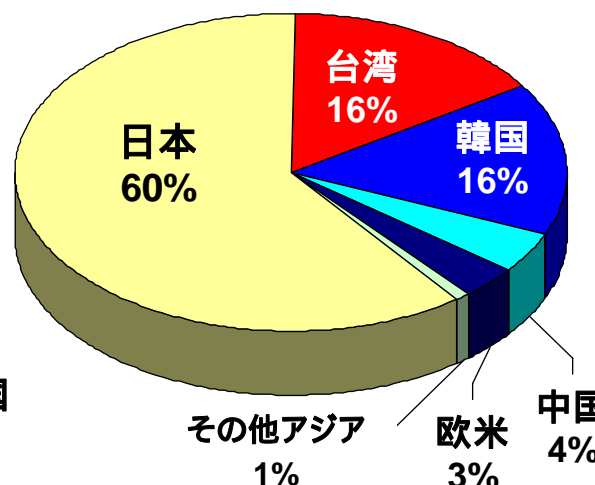


# 地域別売上高構成比

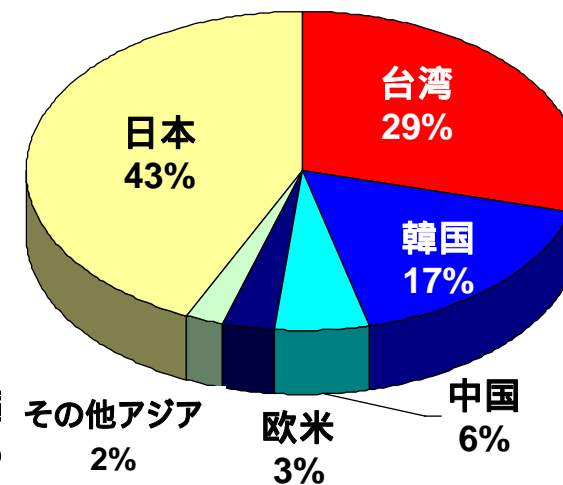
07/6期 2Q(累計)



08/6期 2Q(累計)



09/6期 2Q(累計)



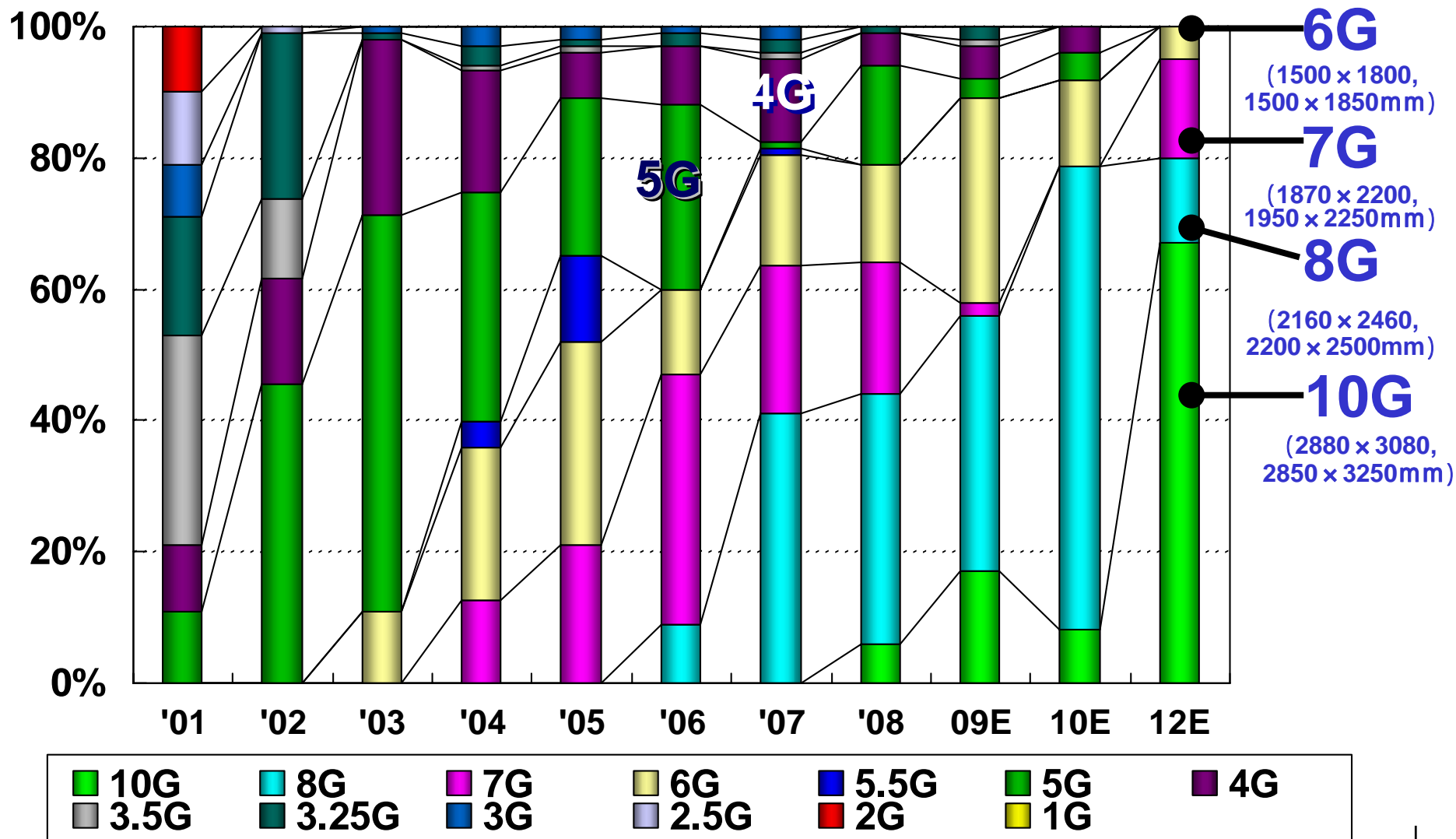
[単位:億円]

| 地 域    | 07/6 2Q(累計) | 08/6 2Q(累計) | 09/6 2Q(累計) |
|--------|-------------|-------------|-------------|
| 日 本    | 609         | 707         | 464         |
| 台 湾    | 277         | 182         | 316         |
| 韓 国    | 210         | 182         | 184         |
| 中 国    | 54          | 47          | 60          |
| その他アジア | 34          | 11          | 24          |
| 欧米他    | 29          | 38          | 33          |
| 合 計    | 1,213       | 1,167       | 1,081       |

注) 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

# 液晶ディスプレイ世代別投資

参考資料



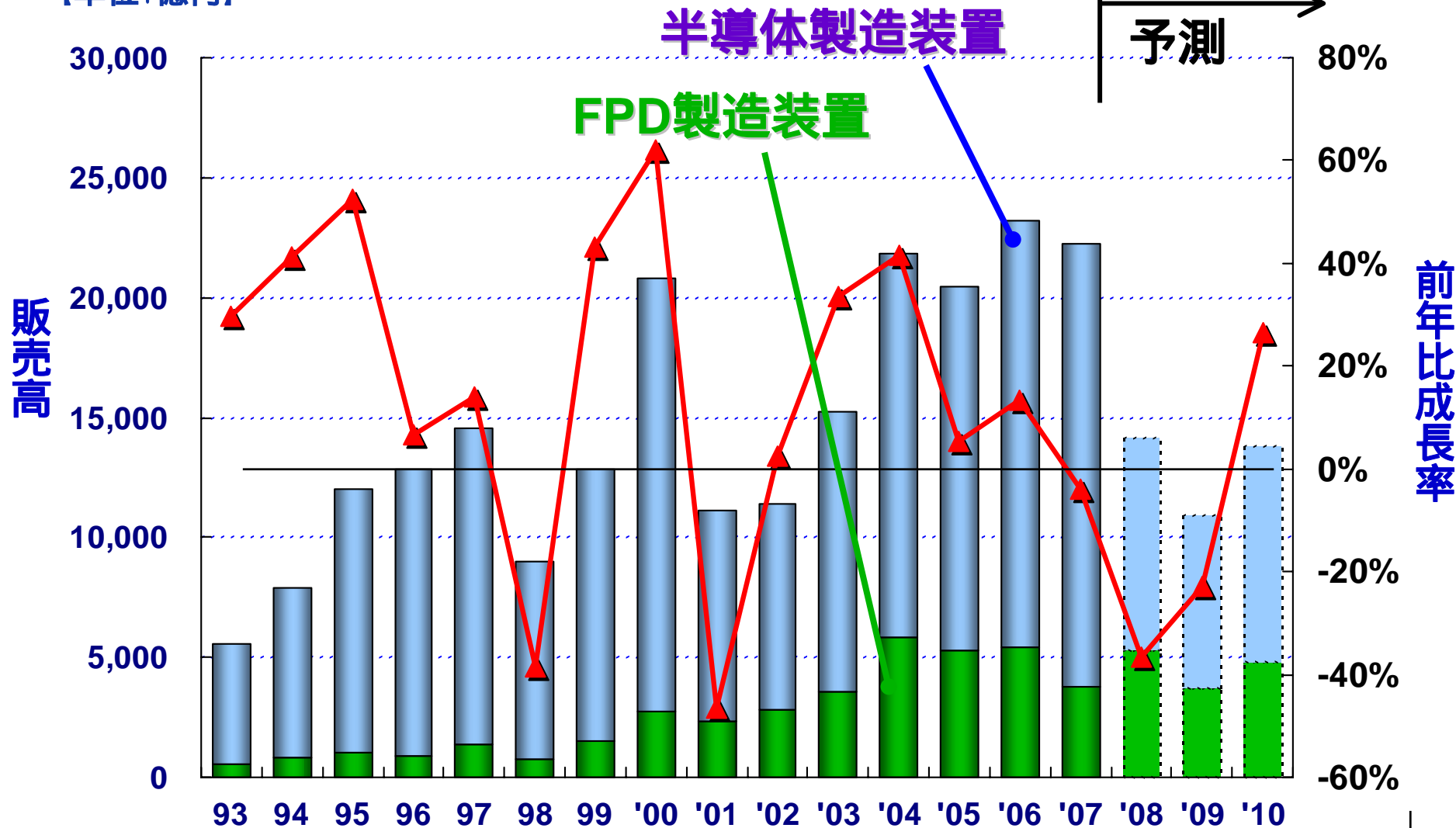
【出所:2009年1月  
The 16<sup>th</sup> DisplaySearch Japan Forum】

# 半導体およびFPD製造装置予測

参考資料

【単位：億円】

<日本製装置販売高予測>



【出所:2009年1月 SEAJ】

(販売高:日系企業(海外拠点含む)の国内および海外への販売高)

真空テクノロジーで  
「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC

